

西山金比羅火口散策路整備 ボランティア活動に汗流す

4月27日、洞爺湖町建設協会が主催し、西山山麓火口散策路と金比羅フットパスの整備活動を行いました。参加したのは、同協会会員と町職員合わせて34人。

春の観光シーズンを控え、観光客がけがの無いように楽しく散策してもらおうと毎年実施されてきています。

今回は、枕木12本と焼き丸太26本が交換されたほか、

約100カ所で枕木のモルタル埋めが行われ老朽化したロープの張り替えも実施されました。



枕木交換に汗を流す建設協会会員の皆さんら

「MOVE
洞爺湖2015」

（洞爺湖温泉観光協会など主催）が、4月29日、洞爺湖温泉で開かれ、住民や全道各地から約200人が参加して、湖畔などの花壇整備に汗を流しました。

2000年有珠山噴火後の洞爺湖清掃作業がきっかけとして、北海道のラジオ局AIR-Gとの連携で始まったボランティア活動です。

当日は、パンジー、ピオラ、アリッサムなど合わせて約11,000株を、町道や湖畔、噴火記念公園など92カ所に植栽しました。



花壇の整備を楽しむ参加者ら

**洞爺湖畔で花壇整備
全道からボランティア200人参加**

多彩な植物や野鳥が観察できる月浦森林公園の魅力を知る「春を



春を見つけながら散策する参加者ら

楽しむ会「月浦森林自然公園」（いきいき教室・NPO法人地域自然活動センター森・水・人ネットワーク主催）が、5月8日同公園で、約50人の町民らが参加して開かれました。参加者は、芽吹き始めた野花など春の訪れを感じていました。

当日は、NPO法人代表の木村益巳さんが案内し、シラネアオイやエゾノリュウキンカの群草など多数の野草を観察。木村さんは「この公園は、野草や木の種類が多く、西胆振の中ではトップといってよい」と同公園の自然度の高さを絶賛していました。

**野草や野鳥を観察
洞爺湖の春を満喫**

独居のお年寄り同士の交流を図るふれあい交流会（社会福祉協議会主催）が、5月13日健康福祉センターさわやかで開かれ、35人が参加し、昼食を囲んで楽しいひとときを過ごしました。

男性70歳以上、女性75歳以上を対象に、毎週水曜日に行っていて、ふれあいが少ない一人暮らしのお年寄りが、健康で生きがいのある暮らしができるようにと始められました。

この日も、昼食には、おにぎり、やきそば、ジンギスカンが

振る舞われ、おいしい食事をしながら近況などを語り合いました。



昼食を囲んで話も弾む一人暮らしのお年寄り

**昼食囲んで弾む会話
ふれあい交流会**

まちのわだい

